

2. 市民力向上(市民学習・研修)事業

— 市民対象に多様な学習の機会として25コース、127講座を提供。講師派遣223件。

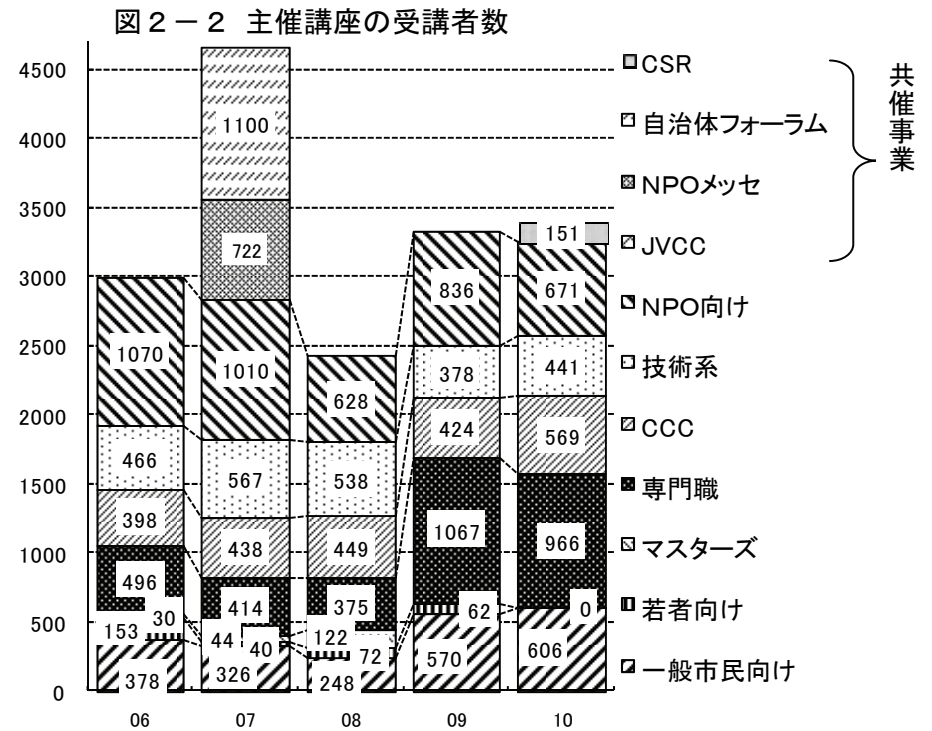
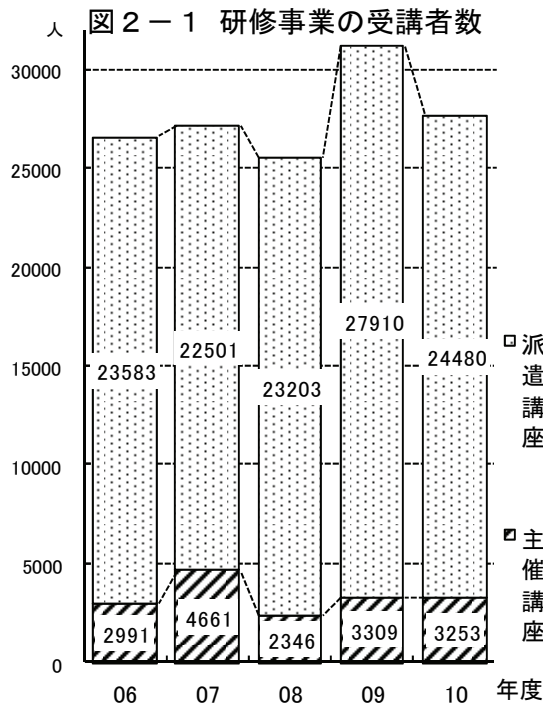
協会は、①「一般市民向け」の多様な講座、②若者など特定の層をターゲットとした講座、③語り・手話などの「技術研修」、④「NPO関係者」向け講座、⑤市民活動推進の「専門職対象の講座」、中には「企業の社会貢献担当者向け」講座…と、多様なタイプの講座を開講している。

2010年度は、5形態、25コース、127講座を開講、のべ3,253人が受講した。また、他団体が開催する講座などにのべ359人の講師を派遣、2万4,480人が受講した。

1. 研修事業の全体像

市民活動に関する協会の研修事業は、協会主催で各種の講座を開催するとともに、外部から依頼に応え、講座企画・講師派遣という形で、全国各地で市民活動に関する講演活動(出前講座)を行っている。

その受講者数の推移を図2-1に、主催講座の受講者の推移を図2-2に示す。なお主催講座受講者数はのべ人数を示している。2010年度の主催講座では、前年度と比べ440人受講者数が減少した。これはJVCAとの共催による「ボランティアコーディネーション力検定」の研修受託講座数の減により専門職向け講座が、また、大阪市委託のNPO講座数の減によりNPO向け講座が、それぞれ減少した。



2. 講座・研修会の開催

協会全体での主催講座数(事務局を担った共催講座を含む)は24コース(前年度は37コース)、123講座(同154講座)。のべ受講者数は2,860人(同3,337人)である。

【A. 一般市民向けの講座:「市民力」向上の取り組み】

(1) 「はじめてのボランティア説明会」の開催 [大阪府共同募金会の配分金を一部活用]

ボランティア活動希望者の集合オリエンテーションとして、毎月3回程度、第2火曜昼、第3水曜夜、第4土曜の朝に開催。講師は協会のボランティアコーディネーターが務め、10年度は28回開催した。

- ・受講者: のべ148人受講(前年度99人)
- ・内容: ボランティアとは? / 活動の探し方 / 活動上の注意点など

(2) テーマ別「はじめてのボランティア説明会」の開催 [大阪府共同募金会の配分金を一部活用]

特定のテーマに特化した「はじめてのボランティア説明会」を開催。各分野で活動するスタッフを招き、ボランティア活動の内容ややりがい、楽しさについて話を聞いた。10年度は4回開催、のべ40人受講した。

- ①テーマ: さまざまな子どもを支援する活動

- ・日 時：2010年7月31日(土)10時30分～12時30分・受講者：12人
- ・講 師：織田智子(プール・ボランティア)
前島麻美(山王こどもセンター)
- ②テ ー マ：不登校やひきこもりの子どもたちを支援するボランティア活動
- ・日 時：2010年9月25日(土)10時30分～12時30分
- ・講 師：今川将征(フリースクールみなも)、湯上俊男(フォロ)
- ・受 講 者：15人
- ③テ ー マ：おしゃべりコミュニケーションで日本語学習の支援をする
- ・日 時：2011年1月29日(土)10時30分～12時30分・受講者：11人
- ・講 師：斎藤裕子(にほんごサポートひまわり会)
丸山敏夫(大阪市浅香識字・日本語教室)
- ④テ ー マ：声を聴く 電話相談ボランティア ・受講者：2人
- ・日 時：2011年3月26日(土)10時30分～12時30分
- ・講 師：榎 雄喜(子ども情報研究センター)
澤井登志(国際ビフレンダーズ・大阪自殺防止センター)



講師の斎藤裕子氏
(にほんごサポートひまわり会)



「災害ボランティア説明会」の様子

(3)「災害ボランティア説明会」の開催【新規】

東日本大震災の被災地で支援をしたいと思っている人を対象に説明会を4回開催。のべ133人の参加者があった。

(4)「定期総会記念講演会」の開催

定期総会時の公開記念講演会として、「誰もが安心した社会で暮らすには～市民活動としての反貧困運動の今後～」をテーマに実施した。

- ・日 時：2010年5月22日(土) 10時30分～12時
- ・講 師：湯浅 誠氏(反貧困ネットワーク事務局長)
- ・会 場：大阪NPOプラザ
- ・受 講 者：114人(うち会員以外の参加者28人)

「定期総会記念講演会」講師の湯浅誠さん(反貧困ネットワーク事務局長)



(5)「自治の学校」の開催

市民活動を展開する上での理論と実践を学び、市民活動を通じて自治力を高める視点について学ぶ「自治の学校」を新規開催した。目的は次の通り。①民主主義における自治について基礎知識を学び、市民活動と自治のつながりを理解する。②自治の実践における理論と手法を身につけ、より効果的に自治の活動に取り組む人を増やす。③自治に関心のある行政関係者とのゆるやかなネットワーク作りに向けて情報収集を行う。④大ボラ協やNPOがアドボカシーに結びつく事業に活発に取り組む機運を作る。

1.『市民自治』をいかに実現するか。我々に問われていることは何か?

講師：福嶋浩彦氏(元我孫子市市長、消費者庁長官)

内容：市民の公共とはなにか。政府、自治体、議会の民主主義など

日時：2010年9月25日(土)13時30分から17時30分

参加者：32人(一般23人、スタッフ9人)満足度：4.9点/5点満点(回答率100%)



福嶋浩彦氏

2. 与布土オプショナルツアー

「地域づくりに取り組む「兵庫県朝来(あさご)市与布土(よふど)」の現地に行ってみよう！」

日時：2010年10月22日(土)9時から19時

内容：与布土の自治活動を視察。農家レストラン、温泉を生かしたまちづくりなど

視察先：兵庫県朝来市与布土、生野

参加者：12人(一般3人、スタッフ9人)満足度：4.6点/5点満点(回答率58.3%)



上野真城子氏

3. 「デモクラシーと市民世界の光景 ～私たちは、21世紀の

コミュニティーと「市民世界」を託す、次代の市民を育てているだろうか～」

講師：上野真城子（関西学院大学教授）

内容：政策を市民のものにするには？ 次代の市民を育てるには？

日時：2010年12月18日（土）13時30分から17時30分

参加者：17人（一般9人、スタッフ8人）満足度：4.9点/5点満点（回答率100%）



立岩真也氏

4. 「市民としての発想法とは」

講師：立岩真也（立命館大学教授）

内容：誰が何を所有できるのか？ ～生産財の所有の在り方から市民の発想を学ぶ

日時：2011年1月15日（土）13時30分から17時30分

参加者：19人（一般14人、スタッフ5人）満足度：4.3点/5点満点（回答率64.3%）

（6）「市民が創る！裁判員制度☆国会議員徹底討論会」の開催

「“裁判員 ACT”裁判に市民参加を進める会チーム」が企画運営を担当し、「市民が創る！裁判員制度☆国会議員徹底討論会」を開催。市民が参加する裁判員制度はどう改善するべきか、主要政党で法務を担当する国会議員をゲストに迎えて、市民参加で裁判員制度について語りあった。

①連続学習会「市民が創る！裁判員制度☆国会議員徹底討論会」

- ・内容：対象事件の範囲について/評議の多数決について
裁判員の守秘義務について/その他の見直しが必要な点
- ・参加議員：辻恵氏（民主党衆議院議員）
桜内文城氏（みんなの党参議院議員）
井上哲士氏（共産党参議院議員）
- ・コーディネーター：西村健氏（日弁連裁判員本部事務局次長）
- ・日時：2010年12月19日（日）14時～17時
- ・会場：大阪NPOプラザ ・受講者：40人



（7）「多文化カフェ」の開催 【新規】

外国ルーツをもつ人をゲストとして招き、市民レベルでみた日本社会との関わりを考え、参加者と語りながら、多文化・異文化について考える場を開催した。

【第1回】日本とインド2つの国で生きる女性と語る多文化・異文化

- ・開催日：2010年6月27日（日）13時30分～15時30分
- ・ゲスト：サリタ・ヴァーダ
- ・会場：大阪NPOプラザ ・参加者数：16人

【第2回】韓国と日本 何が違う？何が同じ？韓国教育事情

- ・開催日：2010年12月12日（日）13時30分～15時30分
- ・ゲスト：鄭希英（チョンヒヨン）
- ・会場：大阪NPOプラザ ・参加者数：15人



第2回ゲスト 鄭希英さん

【B. 技術研修講座】

（1）「お話の語り手講座」（第33期）の開講（協力：なにわ語り部の会）

お話の語り手として、「発声練習」「実技」など基本的な技術を身につける10回連続の講座。「なにわ語り部の会」のメンバーを講師に、協会北区事務所などの会場で開催した。

- ・日時：2010年6月5日（土）～10月30日（土） ・受講者：36人（のべ346人）
- ・講師：「なにわ語り部の会」メンバー

（2）「初級手話講習会」（第16期）の開催（共催：手話サークル「つくし」）

初心者を対象にした8回連続の講座。手話の技法の他、聴覚障害者の置かれた状況についても学ぶ機会となった。

- ・日時：2010年7月1日～8月26日（毎木曜夜 8回） ・会場：協会北区事務所
- ・講師：細溝良和（手話サークルつくし） ・受講者：21人（のべ95人）

【C. NPO関係者向けの講座:「組織力・経営力」向上の取り組み】

(1) NPO入門研修 (NPO法人設立・運営説明会シリーズ) [大阪府共同募金会の配分金を一部活用]

① 入門講座「はじめてのNPO説明会」(年6回:第1土曜、10時~12時)

- ・日時:2010年4月3日、6月12日、8月7日、10月2日、12月4日、2011年2月5日
- ・講師:金治 宏、奈良雅美 ・受講者:計44人(前年度50人)
- ・内容:NPOとは?/市民活動を組織化すること/NPOにとっての会員、役員とは など

② 法人設立予定者向け講座「NPO法人の組織のきほんを考える説明会」(年5回:第1土曜、13時~15時)

- ・日時:2010年4月3日、6月12日、10月2日、12月4日、2011年2月5日
- ・講師:白井恭子、江渕桂子 ・受講者:計36人(同16人)
- ・内容:NPO法人とは?/定款とは?/会員とは?/理事・監事の役割とは?/総会とは? など

(2) NPOのための「ガバナンス」「マネジメント」「プレゼンス」スキルアップ研修企画事業【大阪市受託事業】

大阪市受託事業としてNPOの運営に必要な「ガバナンス」「マネジメント」「プレゼンス」をテーマに11講座を開催。運営にさらに磨きをかけたい活動実践者などが参加した。のべ参加者数:199人。満足度平均:5点満点中4.5点

■ガバナンス

1. NPO法人&新公益法人セミナー(10月5日)
参加者:15人、満足度:4.6点、アンケート回収率:100%、脇坂誠也氏(税理士)
2. NPO法人の会計担当者が知っておくことセミナー(10月29日)
参加者:34人、満足度:4.5点、回収率:94%、講師:水谷綾
3. NPO法人のための税務セミナー(11月2日)
参加者:30人、満足度:4.1点、回収率:97%、講師:秋岡安(税理士)

■マネジメント

- 4~5. ボランティアメンバーの心に火をつけるボランティアマネジメントのコツ(10月7日、8日)【相談付】参加者:4人、満足度:4.8点、回収率:100%、(10/7)基礎編のゲスト:村井琢哉(山王醍醐こどものひろば事務局長)、田中壽美子(アジア協会アジア友の会 副事務局長)、講師・コーディネーター:白井恭子(大阪ボランティア協会)(10/8)講師:白井恭子(大阪ボランティア協会)【相談】1団体。相談内容:ボランティア募集のためのチラシ作成、会員規約、ボランティアプログラム作成等。
6. 納得の話し合いを作る!ファシリテーションの視点でNPOを運営する(11月12日)
参加者:14人、満足度:4.9点、回収率:93%、講師:岡村こず恵
7. NPOのための資金拡充ノウハウセミナー(12月10日)
参加者:19人、満足度:4.6点、回収率:95%、講師:水谷綾
8. NPOのための行政を知るセミナー(12月17日)
参加者:22人、満足度:4.5点、回収率:86%、講師:早瀬昇

■プレゼンス

9. 企画・助成金・プレゼンテーションの極意(10月26日)
参加者:30人、満足度:4.7点、回収率:90%、講師:江渕桂子
10. こうやったのか 団体紹介文の作り方!NPO広報の基本…「団体紹介文」作成講座(1月15日)
参加者:13人、満足度:4.8点、回収率:77%、講師:武永勉(NHK記者)
11. NPOのためのホームページ診断!(1月18日)
参加者:18人、満足度:4.1点、回収率:100%、講師:吉野太郎、野方純(ひょうごんテック)

(3) 市民活動サロン「遊学亭(ゆうがくてい)」の開催(共催:市民活動プロデューサー協会)[共募配分金活用事業]

毎回異なる「亭主」(コーディネーター)の進行で、亭主自身が注目している市民活動家を招いたサロン。市民活動に必要な「ひらめき」「新しい刺激・情報」「出会い」「充電」などの機会を参加者とともに共有できるよう、亭主自身が進行や茶菓子選定などのもてなしを工夫した。各回とも日曜日、14時~17時。会場は大阪NPOプラザ。

- ① 第23回 ゲスト：タラ・セレスタさん×藤原麻佐代さん（市民活動プロデューサー協会）
 ・テーマ：日本とネパールの『笑顔』をつなぐ～故郷で夢をかなえるために私にできること
 ・日時：2010年7月25日（日）14時～17時 ・参加者：12人
- ② 第24回 ゲスト：生田武志（野宿者ネットワーク代表）
 ×岡村こず恵（大阪ボランティア協会）
 ・テーマ：野宿者支援活動から見えてきたこと～子どもと野宿者“人と人としての出会い”
 ・日時：2010年10月10日（日）14時～17時 ・参加者：8人
- ③ 第25回 ゲスト：立石美佐子（北摂こども文化協会理事長）、
 蔦田夏（関西こども文化協会代表理事、ストレスカウンセリング・センター事務局長）
 ×永井美佳（大阪ボランティア協会）
 ・テーマ：私たちは運動家？活動家？～運動をゼロから再構築した女性たち
 ・日時：2010年12月5日（日）14時～17時 ・参加者：13人
- ④ 第26回 ゲスト：大森順子（しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西）
 ×黒田綾（大阪ボランティア協会）
 ・テーマ：シングルマザーのどすこい人生～わたしは欲望に貪欲な人間
 ・日時：2011年2月13日（日）14時～17時 ・参加者：9人



タラ・セレスタ氏



大森順子氏

（4）その他のセミナー

- ①「ボランティアと向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座」の開催〔共募配分金活用事業〕
 “ボランティアと向き合うにあたって”のファシリテーションの基本的な考え方から具体的な進め方を講義や演習をまじえて学ぶ講座を、日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）と共催で開催した。
 ・日時：2010年8月9日（月）10時～17時 ・会場：大阪NPOプラザ
 ・講師：加留部貴行（JVCA、日本ファシリテーション協会、九州大学） ・受講者：19人
- ②「ファンドレイジング研究会 in 大阪」および「ファンドレイジングセミナー in 大阪」の開催協力
 日本ファンドレイジング協会が主催する「ファンドレイジング研究会」および「ファンドレイジングセミナー」の大阪版の開催にあたって、広報や当日運営などの開催協力を行った。
1. 「ファンドレイジング研究会 in 大阪～コース・リレイテッド・マーケティングは救世主になれるのか!？」
 ・日時：2010年8月2日（月）19時～21時 ・会場：大阪市立青少年センター（ココプラザ）
 ・講師：野村尚克（Causebrand Lab.）、鶴尾雅隆（日本ファンドレイジング協会） ・受講者：35人
2. 「ファンドレイジングセミナー in 大阪～世界のファンドレイジングの潮流と明日への期待」
 ・日時：2011年2月7日（月）14時～17時 ・会場：大阪NPOプラザ
 ・講師：ニッキ・ノーブル（Noble Services LLC）、アンドリュウ・モサウイ（Blackbaud inc.）、
 鶴尾雅隆（日本ファンドレイジング協会） ・受講者：50人
- ③. NPO法・税制改正関西地域学習会（7月6日）
 NPO法の改正に向けた動きを作るため、税制度連絡会の地域学習会の一環として関西地域において実施した。
 ・日時：2010年7月6日（月）19時～21時 ・会場：大阪NPOプラザ ・受講者：70人
 ・講師：関口宏聡（シーズ・市民活動を支える制度をつくる会）
- ④. NPO法人会計基準導入に向けての NPO法人会計セミナー in 大阪
 NPO会計基準が策定されたため、その普及のための学習会第1弾を実施した。
 ・日時：2010年10月23日（土）14時～17時 ・会場：大阪NPOプラザ ・受講者：41人
 ・講師：岩永清滋（公認会計士、NPO会計専門家ネットワーク理事長）

【D. 市民活動推進のための専門職養成講座】

市民活動推進の専門家養成に関して、以下のような講座を開催した。

（1）「ボランティアコーディネーター養成講座」（第36期）

新任ボランティアコーディネーター向け講座。一日でボランティアコーディネーターが「わかる、できる、つながる」実践に役立つ基礎研修。

- ・日時：2010年6月4日（金）・会場：大阪NPOプラザ
 ・受講者：43人（のべ172人）



- ・講師：石井祐理子氏(京都光華女子大学)
南多恵子氏 (夙川学院短期大学)、白井恭子 (大阪ボランティア協会)

(2)「ボランティアコーディネーション力検定・直前研修」(3級、2級)の共催、協力

日本ボランティアコーディネーター協会が主催の上記検定の直前研修を共催・協力した。

【3級検定・共催】

- ・日時：第6回=2010年5月15日(土)、第7回=2010年12月4日(土)
- ・受講者：第6回=45人(のべ135人)、第7回=80人(のべ240人)
- ・講師：第6回=早瀬 昇(大阪ボランティア協会)、筒井のり子(龍谷大学)
第7回=赤澤清孝(ユースビジョン)、垂井加寿恵(神戸市中央区社会福祉協議会)

【2級検定・協力】

- ・日時：第2回=2010年9月4日(土)、5日(日) ・受講者：46人
- ・講師：早瀬 昇(大阪ボランティア協会)、筒井のり子(龍谷大学)、後藤麻理子(日本ボランティアコーディネーター協会)

(3) 市民活動支援センタースタッフ向け研修会の開催 (第3章、第7章で詳細を報告)

- ①「全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議」の開催協力 のべ参加者： 87人
- ②「関西NPO支援センターネットワーク(KNN)」研究会の開催 のべ参加者： 69人
- ③「KNNゼミ」の開催 のべ参加者：116人
- ④「関西地区大学ボランティアセンター担当者会議」の開催 のべ参加者： 62人

(4) 企業担当者向け研修会の開催 (第5章で詳細を報告)

- ①「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム」 6回。のべ参加者：324人
- ②「リンクアップ・フォーラム・自主ゼミ」 7回。のべ参加者： 94人
- ③.『買い物で世界を変える』市民目線のCSRフォーラム」 3回。のべ参加者：151人

【E. 東日本大震災の市民活動推進者の集まり】

3月11日の東日本大震災の発災を受け、市民活動推進者による現地報告や状況共有、支援者側としての支援方法を学ぶための集会を緊急的に取り行った。

(1)「主に関西中間支援・NPOによる東北地震被災地支援に関する情報交換の会合

3月11日の発災直後、現地の被害状況把握が不十分であったため、急遽、関西NPO支援機関やNPO/NGOが集まり、情報交換およびその当時に関西でできることについての話し合いの場を持った。これは緊急的集まりとしてUstream中継も実施し、市民活動推進以外の関係者も駆けつける集会になった。

- ・日時：2011年3月14日(月) 18時30分~21時
- ・会場：福島区民センター ・参加者：75人(Ustream視聴者は除く)

(2) 被災者主体の災害ボランティアコーディネーションを考えるつどい in 大阪

日本ボランティアコーディネーター協会(JVCA)と大ボラ協が中心となって、被災地で活動するボランティアコーディネーターと関係者を対象に緊急の「つどい」を企画実施した。

- ・日時：2011年3月26日(土) 18時30分~21時
- ・会場：福島区民センター ・参加者：120人(Ustream視聴者は除く)
- ・報告者：長谷部治(神戸市長田区社協)、井岡仁志(滋賀県高島市社協)、西原弘将(大阪府社協)、永井美佳(大阪ボランティア協会)



3. 他団体主催講座への講師派遣

(1) 講師派遣依頼の受付数

以上の主催講座の一方で、協会では行政や社会福祉協議会、NPO支援センター、市民団体など他団体が開催する「協働研修」「ボランティア講座」「CSR研修」「市民活動セミナー」などの講座の企画立案に応じるとともに、職員などを講師として派遣している。

2010年度は237件(前年度266件)の講師派遣依頼が寄せ

られた。図2-3に示すように、企業や労組からの依頼は増えたものの、行政からの依頼が減少したため、依頼総数が減少した。

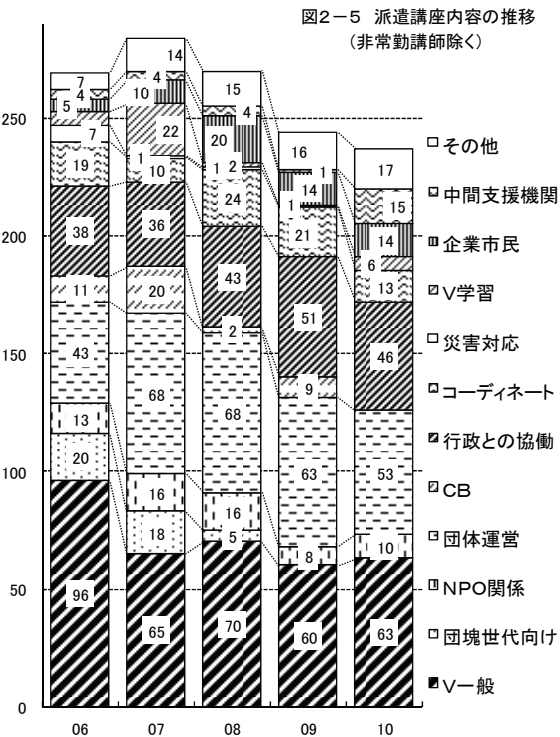
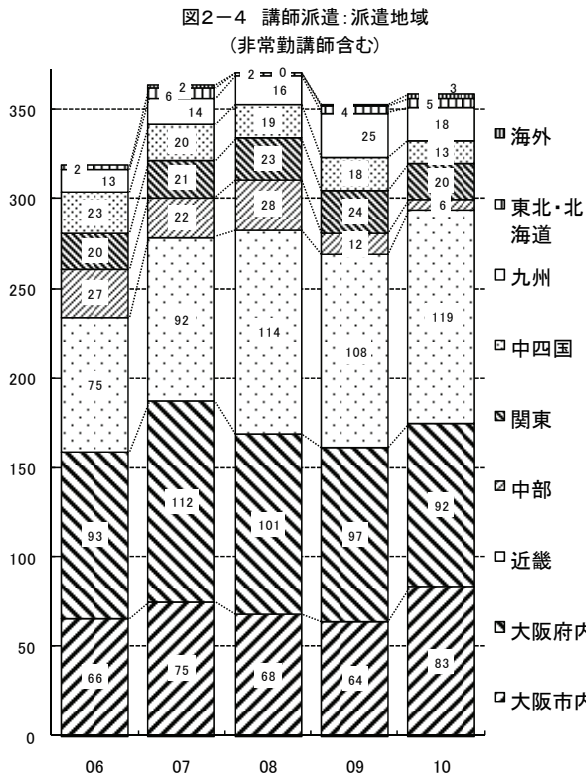
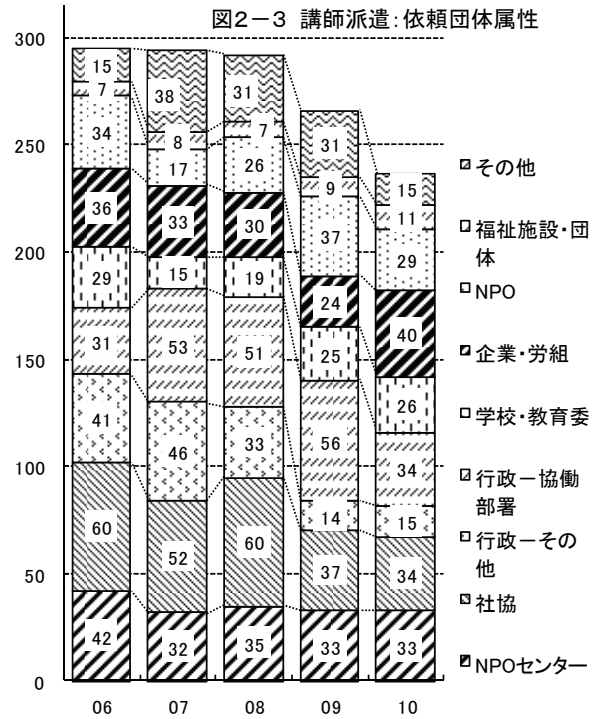
このうち依頼に応えられたのは223件(受託率94%。前年度91.2%)で受託率はやや向上した。紹介できなかったケースの大半は特定の職員に対して特定の日程で指定されたため、日程調整ができなかったものである。

(2) 講師派遣の実績

上記の事務局で調整し講師派遣を行った223件に加え、大阪大学大学院、神戸大学大学院、関西大学、龍谷大学などに定期的に非常勤講師を派遣(のべ136回)した件数も加えると、全国各地のボランティア講座やNPO関係講座などへ、のべ359人(前年度357人)の講師を派遣した。

これらの講師派遣での聴衆の数は、のべ24,480人(前年度は27,910人)に達した(図2-4)。

講師派遣での講座内容(派遣分)は、NPO関連63件、ボランティア入門など基礎的なものが63件、市民(活動)と行政の協働に関するものが46件、ボランティアコーディネーションに関するものが13件、CSR(企業の社会的責任)・企業市民活動関係14件などであった。(非常勤講師を除く)(図2-5)



(3) 研修生・インターンの受け入れ

2010年度に受け入れた研修生・インターンは下記の6人であった。

① 甲南女子大学インターンシップの受け入れ

- ・氏名：太宰茉里、福西真生、福原佳恵(文学部多文化コミュニケーション学科)
- ・期間：2010年5月～2011年1月 ・活動内容：「ボランティアスタイル」の事業運営に参画

② 市民社会創造ファンド、インターンシップの受け入れ

- ・氏名：松尾祐太郎(大阪大学大学院)
- ・期間：2010年6月～受入れ中 ・活動内容：企業市民活動推進センターの事務局全般

③ 大阪大学インターンシップの受け入れ

- ・氏名：市位ちひろ(大阪大学人間科学部)
- ・期間：2010年7月～12月(週1日程度) ・活動内容：市民活動総合情報誌「ウォロ(Volo)」の編集補助

④ コープともしびボランティア振興財団からのインターンシップの受け入れ

- ・氏名：大岩由美(コープともしびボランティア振興財団) ・期間：2011年3月～受入れ中
- ・活動内容：ボランティアコーディネーション事業を中心とする協会事業全般